

# 最新放射線機器を導入

## 総合南東北病院とクリニック

総合南東北病院と南東北医療クリニックにこのほど最新の放射線機器が導入されました。

### <高性能CT>

総合南東北病院が導入したのは、画質向上と被ばく低減を可能にした高性能画像診断装置「レボリューションCT トゥルー フィデリティー エディション」（GEヘルスケア・ジャパン社製）。

深層学習（ディープラーニング）を用いて開発された次世代画像再構成法の機能を搭載した最新機器で、撮影時間は胸部から骨盤までならずか2秒弱。患者さんへの放射線被ばくが従来のCTに比べ大幅に低減。画質も読影しやすくなっています。患者さんの身体的負担が軽減されます。特に救急医療に威力を発揮することが期待されます。



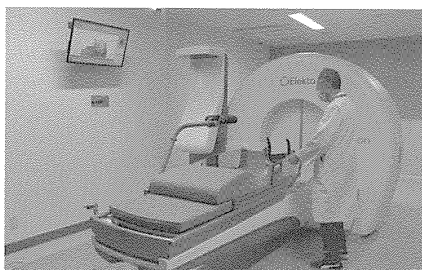
総合南東北病院の最新型  
レボリューションCT

### <高性能ガンマナイフ>

一方、南東北医療クリニックは脳疾患の治療に使われる低侵襲の定位放射線治療機器ガンマナイフの最新型「レクセルガンマナイフ I CON（アイコン）」（エレクタ社製）を導入しました。

脳内の小さな病変に対し、1回の照射で高線量の放射線を集中させ、ほかの正常組織への被ばくを抑え、高い正確性と効率性で優れた治療効果が期待されます。統合的なイメージング機能や線量配分を継続的に管理するソフトウェアをはじめ、最新技術を多く取り入れ、より安全で精度の高い治療に貢献します。

両院ではこれらの機器の導入で、患者さんに提供する医療サービスの質を一層高めたいとしています。



南東北医療クリニックの  
高性能ガンマナイフ